

北海道洞爺湖サミット「北海道情報館」にレコサールを展示

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、北海道洞爺湖サミットにおいて、国際メディアセンター(IMC)の屋外に開設された「北海道情報館」で、環境にやさしいリサイクル製品「レコサール※1」を出展しましたのでお知らせいたします。

「北海道情報館」は、国内外の報道関係者などに対して、北海道の自然や魅力を世界に発信する情報提供拠点です。館内は「海」「大地」「森」などの8つゾーンで構成されており、「レコサール」は海のゾーン“流氷と海が育む豊かな資源”に展示しております。

レコサールは、石油精製における環境対応※2の副産物である硫黄を有効利用する技術として開発した製品で、実証プラントが北海道室蘭市にあります。2007年3月には、北海道内のリサイクル品を原料として用いている点や強度・耐酸性などの優れた特性が認められ「北海道リサイクルブランド」として認定され、建築・土木資材として下水道施設、河川の大型水路、温泉施設など幅広い分野に使用されています。

当社グループは、経営理念として「Environmental harmony(地球環境との調和)」を掲げ、今後も、地球環境保全に寄与する技術開発に挑戦し続けることで、人々から最も支持される総合エネルギー企業を目指して参ります。

※1 レコサールは、130～150℃の硫黄に添加剤を加えて製造した改質硫黄に石炭灰等の微粉末を加えた「硫黄中間資材」と、貝殻、スラグ、砂など他産業の廃棄物・余剰物を骨材として混ぜ合わせ、型枠に流し込み徐冷して固めたコンクリート状の建設資材です。なお、レコサールの高効率製造システムは財団法人石油産業活性化センター事業として開発したものです。

※2 ガソリン・軽油から硫黄分を取り除くことにより自動車の低燃費型新型エンジンへの利用が可能となり、CO2削減が可能となります。このガソリン・軽油のサルファーフリー化(硫黄分10ppm以下)に伴い、石油精製の副産物である硫黄が増加しています。

1.北海道洞爺湖サミット「国際メディアセンター」北海道情報館

- ・開催期間:2008年7月5日(土)～10日(木)10:00～17:00
- ・会場:国際メディアセンター屋外会場(虻田郡留寿都村泉川13)
- ・主催:北海道洞爺湖サミット道民会議

2.当社出展物

- ・ホタテ貝殻を利用したレコサール製藻礁
- ・レコサール紹介パネル及び実海域水中写真

以上



レコサール製藻礁